



- 案内板** Information Board / 안내판
指看板 / 指南板
- トイレ** Toilet / 화장실
洗手间 / 洗手間
- コインロッカー** Coin Lockers / 코인 로커
投币式寄存处 / 投幣式寄存處
- 土産物売場** Souvenir Shop / 기념품 가게
紀念品商店 / 紀念品商店
- エレベーター** (天守閣4Fまで) Elevator (Available up to 4F)
電梯 (至4層) / 電梯 (至4層)
 엘리베이터 (4층까지 이용 가능)
- カフェ** Cafe / 카페
咖啡廳 / 咖啡廳
- 無料WiFiスポット** Free Wi-Fi Spot / 무료 와이파이 지역
免費WiFi地點 / 免費WiFi地點

【駐車場】鳥城公園駐車場(38台) 1時間 300円(以後30分毎に100円)
 ※ 岡山城へお越しの際は、鳥城公園駐車場が便利でお得です。
 ※ 岡山城天守閣の入場者は150円割引になります。駐車券を受付にご提示ください。
 【アクセス】路面電車:「岡山駅前」から「東山行き」に乗車、「城下」下車、徒歩10分
 自動車:岡山ICから車で約20分

◆ 岡山城天守閣 / 観覧時間

9時～17時30分(最終入場 17時)

※ イベント開催時は変更の場合あり。※ 定休日:12/29～31

◆ 利用料金

区分	岡山城	岡山城 岡山後楽園	岡山城 岡山後楽園 夢二郷土美術館
大人 15歳以上	400円 (団体料金 320円)	640円	1,280円
小中学生	100円 (団体料金 80円)	—	—

※ 団体料金は20名以上 ※ 小学生未満は無料
 ※ 詳しくは「岡山城公式サイト」をご確認ください。

◆ 体験・ショップ

【岡山城備前焼工房】— 鳥城公園内

スタッフが丁寧に対応します。
 小さなお子さんから大人まで誰でも簡単に
 岡山名物の「備前焼」がオリジナルでつくれます。



体験料金	1,250円(完成品の送料は別途必要)
体験時間	①10時 ②11時 ③13時 ④14時 ⑤15時

※ 予約優先のため事前にご連絡ください。TEL.086-224-3396

【着付け体験(無料)】— 天守閣 1F



これであなたも殿様!? お姫様!?
 ※ コロナウイルスの感染状況により中止となる場合があります。

【鳥城カフェ】— 天守閣 1F



地元の食材をいかしたお食事やスイーツなどご賞味を。

【金鳥城商店】— 天守閣 B1F

岡山城オリジナルグッズや岡山の銘菓などを取り揃えています。

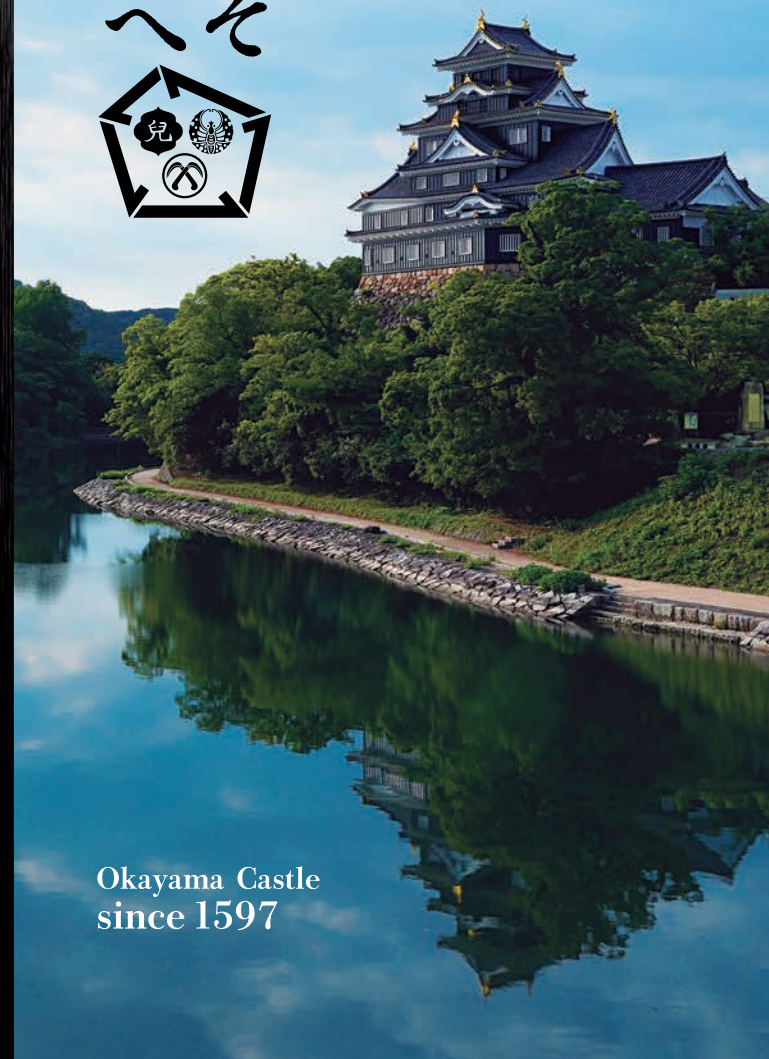
岡山城管理事務所

〒700-0823 岡山県岡山市北区丸の内2丁目3-1
 TEL.086-225-2096 FAX.086-225-2097
<https://okayama-castle.jp/>

岡山城公式サイト



ようこそ
 岡山城へ



Okayama Castle
 since 1597

昭和の再建、平成の改修、 そして2022年11月3日、 令和の大改修が完了。

3分でわかる 岡山城の基礎知識

今の岡山城付近には旭川の流域に岡山、石山、天神山という3つの丘がありました。その石山にあった城を手に入れて本拠地とし、岡山の地を戦国の表舞台に立たせたのは宇喜多直家でした。その子の秀家は、岡山の丘に本丸を定め、今に残る岡山城を築きました(1597年天守完成という)。江戸時代の文献によると、築城は豊臣秀吉の指導によるものといわれます。さらに、多岐にわたる旭川の河道を利用して、流れを現在のように城の北や東を守るように整えたり、堀づくりに活用し、堀の間に南北に長い城下町をつくりあげました。こうして今に続く中心市街地の原型ができ、岡山の名が、市名、県名となる礎となりました。その後城主となった小早川秀秋、池田氏により城と城下町は、さらに拡張され今に至ります。



焼失前の天守

岡山城の天守は、織田信長の安土城や豊臣秀吉の大坂城がそうであったといわれるように、外壁は黒塗りの下見板で覆われていて、烏城の別名があります。また、発掘によると、宇喜多秀家時代の金箔瓦が出土しており、築城時には、城内の主要な建物の随所に金箔瓦が用いられ、豊臣政権下の有力大名である威厳を示していたことでしょう。これにより金烏城とも呼ばれます。

さらに、天守の石垣や1階の平面が不等辺五角形をしているのも特徴の1つで、土台になった岡山の丘の地盤にあわせていたといわれています。さらに、西側には付櫓として塩蔵が付属し、天守への入口がありました。

天守は明治維新後も残る貴重な存在で、昭和初期には詳細な図面が残されましたが、戦災で焼失しました。しかし、昭和41年(1966)には、往事の姿を偲ばせる天守が再建されました。



再建後の天守

6F “烏城” 岡山城の魅力 最上階の姿



岡山城のチャームポイント・華頭窓や壁の唐紙を再現。往時の天守最上階の雰囲気を感じられます。城主が眺めていた岡山を味わえます。

5F 今につながる城下町



まちをつくった宇喜多直家とまちを極めた池田光政。2人の“まちづくり”を中心に、プロジェクションマッピングを用いて、城下町の変遷をたどります。

4F 岡山 戦国の表舞台へ ～宇喜多直家と秀家～



岡山の地を本拠とした宇喜多直家と岡山城をつくった宇喜多秀家。宇喜多家2代の物語を伝えます。

3F それぞれの関ヶ原



岡山城の成り立ちと切っても切れないのが関ヶ原の戦いです。西軍の宇喜多、東軍についた小早川、前哨戦で活躍した池田それぞれを掘り下げる映像も上映。

2F 池田光政と綱政 ～江戸時代の岡山～



池田光政と綱政を中心として、主に池田家ゆかりの資料を展示します。「城主の間」の再現も見どころです。

1F 体験・記念撮影コーナー 体感 戦国絵巻



「集う城」として、昼と夜とではがらりと変わるフロアです。昼間は体験型の展示やフотスポットなどに、夜間は貸切でイベントにも利用できます。これまでになかった、新しい城の可能性を探っていきます。

B1F “烏城” 岡山城の魅力 よみがえる岡山城本丸



出入口のある階が「B1F」です。精密な岡山城の本丸模型や絵図を展示し、岡山城の価値と魅力を来館者にプレゼンします。

※画像はイメージです



展示監修は岡山ゆかりの 磯田道史氏(岡山市出身)

歴史学者
国際日本文化研究センター教授



1970年岡山市生まれ。慶応大大学院文学研究科博士課程修了。博士(史学)。茨城大准教授、静岡文化芸術大教授などを経て現職。『武士の家計簿』(新潮ドキュメント賞受賞)、『天災から日本史を読みなおす』(日本エッセイスト・クラブ賞受賞)、『日本史の内幕』など著書多数。

〈監修にあたって～抜粋～〉

四つのことを大切に、このお城をよくしていきたいと思っています。

- ◆ 岡山ゆかりの歴史人物のドラマが感じられる展示にします。
- ◆ 岡山城天守の建物としての魅力を高め、分かりやすく紹介します。
- ◆ 博物館レベルの新しい装置で本物の価値ある文化財を展示します。
- ◆ 誰もが楽しめるユニバーサルな体験型の展示を導入します。

かつて、お城は武将のシンボルでした。

今は、まちのシンボルです。

岡山に住んでよかった。訪れて面白かった。

そう感じていただけるよう、ぼくの歴史魂を燃やして、渾身の展示を作りたいと思っています。